

## 平成 29 年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	小学校英語科教員育成のための免許法認定講習のフォロー・アップ ー小学校教員志望の大学院生との互恵的学びの架橋を通してー
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 教授 松崎邦守
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 上越市立安塚小学校 (担当者職名・氏名) 教諭 坂口和代
4 事業の趣旨・目的	<p>本事業は、「免許法（中・二種（英語））認定講習(認定講習)」を本学で受講した小学校教員に対するフォロー・アップを主な目的としている。具体的には、受講教員が認定講習での学びを授業において実践化し、課題を発見し、改善し続けるための支援をしていく。同実践には英語コースの小学校教員志望の大学院生が協働的に参画し授業実践に必要な理論的基盤の提供やデータに基づく授業の形成的評価等を担う。結果、教員・大学院生双方が互恵的に学び合う場が創設される。</p>
5 事業活動報告	<p>認定講習受講者の中で本事業への参加希望がある現職の小学校教員、および大学院生（小学校英語コミュニケーション演習受講生）の参加を得て、以下の活動を実施した。</p> <p>6月：本事業の実施方法等の計画づくり</p> <p>7月：H.29年度認定講習の講習内容の検討・決定・授業準備</p> <p>8月：H.29年度認定講習の実施、同受講生への本事業への参加募集</p> <p>9月：同講習受講生以外の小学校教員への本事業への参加募集</p> <p>10月：大学院科目「小学校英語コミュニケーション演習」受講の大学院生への説明、および本事業参加者(大学院生)の募集</p> <p>11月：本事業への参加者を確定し、会議で事業推進上の留意点等の共通理解をした。また、上記大学院授業（6限目）を活用し大学院生と小学校英語担当教員との協働学習会を実施した。（月に2回）。</p> <p>12月：授業実践希望教員による外国語授業の研究授業を実施し、後日、大学院の授業内で録画DVDによる授業研究を行った。</p> <p>1月：上記教員の勤務校の校内研究として実施された外国語の研究授業を本事業参加の大学院生が参観し、また授業研究にも参加した</p> <p>2月：教員・大学院生双方が互恵的に学び合う場として、「第1回小学校外国語科実践に向けた学びの会」を実施した。</p> <p>3月：本事業の成果のまとめを行った。</p>
6 本事業で得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校外国語の実践に向けて、小学校現職教員・大学院生双方が互恵的に学び合う場の創設の可能性が実践的に見出された。</li> <li>・昨年度に構想した本事業について、第17回小学校英語教育学会全国大会で口頭発表することができた。</li> <li>・本事業に参加した小学校現職教員の中から、1名であるが、本学大学院修士課程の英語コースへの進学考え、平成30年度から同大学院生として入学することとなった。</li> <li>・研究のまとめの一部となる冊子（7. その他）を作成することができた。</li> </ul>
7 その他 (成果物等の名称)	『第1回小学校外国語科実践に向けた学びの会配付資料』（研究連携課提出のとおり）